

サンゴぬり絵 学習指導要領との対応		
学年	教科	学習内容
小学校1/2年	図画工作	A 表現 (1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たいことを見付けることや、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えること。
小学校3/4年	図画工作	A 表現 (1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。
小学校5/6年	図画工作	A 表現 (1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること。
小学校1/2年	国語	C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。
小学校3/4年	国語	C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。
小学校5/6年	国語	C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げると。
小学校3年	理科	B 生命・地球 (1) 身の回りの生物 身の回りの生物について、探したり育てたりする中で、それらの様子や周辺の環境、成長の過程や体のつくりに着目して、それらを比較しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあること。また、周辺の環境と関わって生きていること。 イ 身の回りの生物の様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、身の回りの生物と環境との関わり、昆虫や植物の成長のきまりや体のつくりについての問題を見いだし、表現すること。
小学校6年	理科	B 生命・地球 (3) 生物と環境 生物と環境について、動物や植物の生活を観察したり資料を活用したりする中で、生物と環境との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること。 (イ) 生物の間には、食う食われるという関係があること。 (ウ) 人は、環境と関わり、工夫して生活していること。 イ 生物と環境について追究する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。
中学校	理科(第2分野)	(1) いろいろな生物とその共通点 身近な生物についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 生物の観察と分類の仕方 ⑦ 生物の観察 校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物が様々な場所で生活していることを見いだし理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けること。 ⑧ 生物の特徴と分類の仕方 いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身に付けること。 (イ) 生物の体の共通点と相違点 ⑨ 動物の体の共通点と相違点 身近な動物の外部形態の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見いだし、動物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点に基づいて動物が分類できることを見いだし理解すること。 イ 身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見い出すとともに、生物を分類するための観点や基準を見い出して表現すること。
中学校	理科(第2分野)	(7) 自然と人間 自然環境を調べる観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、自然環境を調べる観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 生物と環境 ⑦ 自然界のつり合い 微生物の働きを調べ、植物、動物及び微生物を栄養の面から相互に関連付けて理解するとともに、自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活していることを見いだし理解すること。 ⑧ 自然環境の調査と環境保全 身近な自然環境について調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、自然環境を保全することの重要性を認識すること。 イ 身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断すること。
小学校	総合的な学習の時間	